

【ご意見内容】

序

鹿部観光活性化のために、社会的現象の人口減、高齢化、少子化傾向の進む中で小中高校の教育課程における位置付け、特に教科との関連に視点をおいて「観光」を論じなければならないだろう。

鹿部町の北海道遺産「間歇泉」は、地球化学、地球物理学、地学、地質学等広範な学術体系から成り立っているといわれている。

観光活性化の具現化にあたり、対象を日帰りの「高齢者・婦人層」と研修旅行・修学旅行の義務教育校と高等学校となるが、資料「しかべ間歇泉のランドデザイン」に記されているが、鹿部町内に小規模な温泉旅館が数軒のみである。

したがって、複式小規模校なら対応できるが中大規模校は宿泊困難となるだろう。

具体的提案事項

①研修旅行・修学旅行

研修目的、宿泊内容等について事前指導グループ指導を重視して実施。

②ホームステイの意義（あいさつ・入浴マナー・ことばづかい等）

③講師は漁師・体験学習（養殖・増殖・魚のさばき等）

④宿泊要領 1泊2日（夕食・朝食）費用の統一（夕食 円朝食 円）

⑤実行委員会は、受け入れ家庭に対し謝礼（名称観光協力費 円）は？

⑥その他

実行委員会は、民泊をとまなう行事となるので、漁師宅への協力要請と啓蒙併せて、渡島桧山教育局・管内教育委員会へ広報宣伝活動を展開

【担当課からの回答】

貴重なご意見ありがとうございます。

ご意見の内容は、大変重要な論点であると認識しておりますので、体験研修へのご意見については、鹿部温泉観光協会が行っている「鹿部町体験観光プログラム」を推進する上での参考とさせていただきます。

今後とも鹿部町の観光を推進する上で、ご意見ご協力のほどよろしくお願いいたします。